



運動会特大号



令和8年6月5日

児童数128名

愛川町立田代小学校

発行責任者 栗根 幸子

「主役は君だ！～限界のその先へ～」

今年の運動会は、「主役は君だ！～限界のその先へ～」をスローガンに掲げて行いました。当日は競技や応援、係活動など、さまざまな場面で子どもたちの活躍が見られました。その中でも、表現には各学年の特色やこれまでの練習の成果がよく表れていたように思います。

低学年の「ライラック」では、音楽に合わせて元気いっぱいに踊る姿が校庭を明るい雰囲気包み込みました。大きく体を動かしながら笑顔で表現する様子からは、運動会を楽しむ気持ちが伝わり、見ている人たちを自然と笑顔にしてくれました。

中学年の「花笠 RISING！」では、これまで受け継がれてきた花笠踊りに加え、新たに「RISING」の演技を取り入れました。三味線の音色が印象的な和風の楽曲に合わせ、スピード感のある動きや力強い表現を披露する姿は大変頼もしく感じられました。伝統を大切にしながらも新しいことに挑戦した中学年らしい演技だったと思います。

高学年の「よっちょれ 2026～響～」では、迫力ある掛け声と力強い動きが会場いっぱいに響き渡りました。真剣な表情で演技に臨む姿からは、最高学年として運動会を盛り上げようとする思いが感じられ、その存在感は下級生の目にも大きく映ったことでしょう。

そして最後を飾った全校表現「三原色」。この演技をつくり上げるために中心となって動いてくれたのが6年生です。練習では下級生に声を掛けたり、手本を示したりしながら全校をリードしてくれました。本番では、それぞれの学年が積み重ねてきたものが一つの演技につながり、運動会の締めくくりにふさわしい時間となりました。

運動会で得られるものは、順位や勝敗だけではありません。目標に向かって努力したこと、仲間と支え合ったこと、自分の役割を最後までやり遂げたこと。その一つ一つの経験が、これからの学校生活の中で子どもたちの力になっていくはずです。保護者の皆様には、練習期間から当日まで温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

5/26 全校練習の様子

運動会担当 小林 未沙

地域に見守っていただいた温かい運動会になりました。ありがとうございました。

前日には、PTA本部中心に保護者の皆様、地域の皆様にも来校していただき、テントや入退場門設置を行っていただきました。おかげで、涼しく、熱中症の予防もでき、安心して運動会を開催できました。

当日は、保護者、地域の皆様の見守り、応援にプラスして、中学生のボランティアの皆さんが運営のサポートに加わってくださり、また、近所でお世話になっている「あいわの里」の皆さんが参観にきてくださり、本当に温かい雰囲気の中で、子どもたちは全力で日頃の成果を発表することができました。

最後の片付けも、多数の方にお手伝いいただき、あっという間に終わりました。ご協力に感謝いたします。